



今月の写真:「紅葉」(檜枝岐村「モーカケの滝」付近)

南会津地域の山々の紅葉は、格別なものであります。この季節には多くの観光客が訪れますが、この南会津の紅葉を見た人は、「また、南会津にコウヨウ(来よう)」と思っているに違いありません!!

今月の内容:

- 今月のトピックス
 - ・福島県オリジナル品種「あづましずく」試食検討会を開催!
 - ・南会津地方水田農業改革推進本部幹事会を開催!
 - ・南会津地方農業適性使用推進会議を開催! 他
- この人を知りたい
弓田円蔵翁
- 南会津の名水の話
「おさはぎの清水」(伊南村農林課)
- 農林事務所からお知らせ
- 南会津のこれが食べたい!!
「たていわの赤かぶ」(館岩村農林建設課)
- 今月のコラム

平成17年10月12日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

福島県オリジナル品種「あづましずく」試食検討会を開催!

去る9月20日下郷町ふれあいセンターでブドウ「あづましずく」試食検討会が開催されました。本検討会は、県オリジナル品種「あづましずく」の食味・栽培の特性を広く周知し、今後のブドウの振興を図ることを目的として、関係機関及び直売・生産組織を対象に開催しました。

「あづましずく」は福島県果樹試験場で育成され、平成16年に品種登録された品種で極早生の種無しブドウとして、現在県北地方を中心に栽培が行われておりますが、南会津管内でも2戸の農家で栽培されております。



試食検討会での主な意見としては、大粒の種無しブドウであるので見た目にもよく、食べやすい、また酸味が少なく、甘味を多く感じるなどがありました。直売所ではブドウの取扱がほとんどないため、今後の出品が期待されます。管内での収穫時期は9月上旬ですが、9月中旬までおいしく食べられる品種でもあります。

今回の試食検討会を通じ、本品種についての理解が深まり、今後の「あづましずく」の生産振興及び直売所での販売拡大に大変有意義なものとなりました。
(農業普及部)

南会津地方水田農業改革推進本部幹事会を開催!

南会津地方水田農業改革推進本部幹事会が9月13日に開催され、平成17年度水田農業改革アクションプログラムの進行管理の中間取りまとめ等について協議しました。

会議では、水田農業改革アクションプログラムの目標を達成するための施策として、「売れる米づくり」の推進や地域農業の再編などを含め、大きく6つの項目に分けて検討が行われ、各町村、JA、農林事務所関係各部からさまざまな意見が出されました。特に、売れる米づくりの推進では、JAが中心となる「会津エコ米3・8運動」の展開により平成19年度までにJA米の8割をエコファーマーによる栽培へ誘導する。また、集落営農の推進では、集落リーダーとの話し合いや集落座談会、アンケート調査等により個々の集落に合ったビジョンについて十分な話し合いを進める等の意見がありました。

今回の取りまとめ結果は、今年度後半及び来年度の推進に生かされることとなります。米づくりの本来あるべき姿を目指す水田農業改革アクションプログラムも、来年度で最終年度となります。目標の達成に向けて、これまで以上に皆様のご協力をお願いいたします。
(農業振興部)

農薬の飛散(ドリフト)に

注意して下さい！！

去る9月7日、田島町御蔵入交流館において南会津地方農薬適正使用推進会議を開催しました。本会議は農薬の適正使用推進を目的に平成14年度から設置されたもので、今回は、構成員を含め農薬適正使用アドバイザー、農薬取扱店、任意出荷組合の広い範囲の方々にも参加願い開催しました。



平成18年5月に施行となる食品衛生法の一部改正にともなう「ポジティブリスト制度(農薬等が残留する食品の販売等を原則禁止する制度)」の導入について協議を実施しました。従来は一部の農薬・動物用医薬品に対する残留農薬基準が設置されていましたが、今後は各食品に残留する全ての農薬・飼料添加物及び動物用医薬品の成分について基準が設置され、これを超えた食品の流通を禁止することになります。今まで以上に農薬の散布の際は周りの作物への飛散に注意し、農薬の適正使用遵守が求められています。「ポジティブリスト制度」の基準等及び農薬使用上の疑問・質問は農業普及部経営支援グループまでご連絡下さい。

(農業普及部)

うつくしま そば活性化フォーラムに参加して！

去る9月9日に猪苗代町において、会津そばトピア会議の主催により「うつくしま そば活性化フォーラム」が開催され、会津地方はもとより、県内各地のそば産地から生産者や関係者などが集まりました。

フォーラムでは、マーケティングに関する基調講演や、そばによる地域活性化事例発表など、会津地域のそばに限らず福島のそばを振興するために、大変参考になる内容でありました。

ただ、このフォーラムにおいて他県から来た講演者や事例発表者が、口を揃えて言っていたことが一番印象に残っています。それは「福島県がそば面積全国2位とは思わ

なかった。このフォーラムで初めて知った。また、会津にそばがあることは知らなかった。会津といえば、喜多方のラーメンのイメージしかない。」などの意見がありました。

まさに“自分たちは分かっている、他人(他県の人)は分かっている。”という、典型的な事であり、参加したそば関係者は“目から鱗が落ちる”思いであったでしょう。

今回の「うつくしま そば活性化フォーラム」は、これからのそば振興やPR方法をどのようにすべきか改めて考えさせられた有意義なフォーラムでありました。

(地域農林企画室)

『集落営農』、まずは話し合いの場から！！

去る9月16日(金)に田島町御蔵入交流館にて、田島町、田島町農業委員会、会津みなみ農業協同組合の主催により「集落営農推進研修会」が開催されました。研修会では、食料・農業・農村政策審議会企画部会委員として基本計画の見直し検討に参画してこられたJ A福島中央会技術常任参与永石正泰先生から「なぜいま集落営農なのか」をテーマに講演がありました。

永石先生からは、今年3月に策定された「新たな食料・農業・農村基本計画」のポイントである①「担い手の明確化と支援の集中化・重点化」、②「集落を基礎とした営農組織の育成・法人化の推進」、さらに③「品目横断的施策への転換」について詳しい説明がありました。「日本農業と地域の実情から今後地域農業再編の取り組みがいかに重要であるか」という問題提起を、会場の参加者は真剣に受け止めていたようです。

また、南会津農林事務所より集落営農の事例紹介と話し合いのポイントについて、田島町からは集落営農の取り組み方法について説明が行われました。

この研修会を契機として、集落座談会を開催し、担い手と集落営農組織の育成を推進していくことになります。

(農業普及部)



この人を知りたい

ゆみた えんそう
郷土を愛した 弓田円蔵翁

(1814年~1884年)

田島町から国道121号線を会津若松市に向けて北上すると、下郷町倉村の入り口付近で大きな用水路が目に入ります。この用水路は文久3年(1863年)から明治16年(1883年)までの21年をかけて完成した「円蔵堰」であり、阿賀川から取り入れた下郷町唯一のかんがい用水として倉村及び楢原の農地を潤して

(3ページに続く)

(2ページから続く)

います。今回は、この水路を開削した弓田円蔵翁について紹介します。

当時の倉村一带では大部分の農地が畑であり、村で消費する米の生産ができず他村から買い入れることを余儀なくされていました。円蔵翁は、文化11年(1814年)現在の下郷町塩生の呉服商の家に生まれましたが、公共心に富み、農民が困窮している姿に心を痛め、その難を救うために多額の融資をしたといわれ、堰の開削に際しても2500両(現在の約1億1千万円)もの出資を行いました。最大の難工事は長野向かいの取水口から一里壇までの2kmであり、崖が多く隧道などの岩盤を開削するために、木を積んで火を燃やし水をかけて岩盤に少しづつヒビを入れながら掘り進めました。雪解けや洪水のために工事中に水路が破壊されることもあり、



(国道121号線脇の隧道出口)

この区間を掘り進むために8年もかかりましたが、円蔵翁の励ましと延べ2.1万人の労力により、明治16年ついに完成を見ました。

円蔵翁は堰完成の翌年に亡くなりましたが、業績は村民から崇められ岩上神社の境内には、これを顕彰する石碑が建てられています。この用水路を目にされた時には、先人の苦勞と知恵を思い起こして頂ければと思います。

(農村整備部)

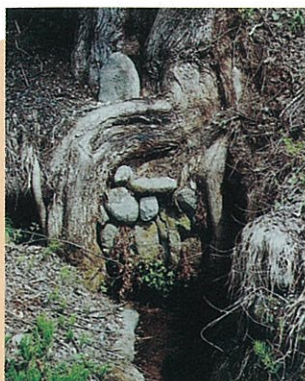
南会津の名水の話

おさはぎの清水 (伊南村)

伊南村農林課

昔この地に麻産業に多大な影響を与えた、機織り名人で箴剥(おさはぎ)という人物がいました。後世この地の人々は箴剥氏を麻産業の守り神として崇敬するに至りました。現在の多々石地区の鎮守「於佐波箴(おさはぎ)」神社がそれで、この社は箴剥氏を祀る神社であります。

さて、多々石と古町の境界にある「ねずみ坂」下に「おさはぎの清水」という名水が湧き出ています。これも



箴剥氏に關係する清水と考えられています。位置關係は旧於佐波箴神社立地位置のほぼ真下にあたります。現在は衛生上の理由で日常的飲用は差し控えられていますが、この清水は今も多々石や古町の人々にとっては「死期(しご)の水」として深く崇敬されています。

清水が湧き出すところに水神碑も祀られています。

箴剥氏の影響例をもうひとつ紹介したい。かつて中世の伊南の町(古町以前の称)は機織りが盛んに行われる場所だったので「おさはぎ町」とも呼ばれていたといえます。

農林事務所からお知らせ

南会津農林事務所農業普及事業 外部評価懇談会委員の公募のお知らせ

公募期間:平成17年10月3日(月)から
平成17年10月24日(月)

【公募の趣旨】

農業に対する普及指導活動の効果的推進と活動成果の波及を図るため、第三者による外部評価を行います。については、外部評価懇談会委員の方を募集します。

【懇談会の概要と応募要領】

1. 審議事項:農業に対する普及指導活動の取り組み状況、普及指導活動の成果、目標に対する到達度等について検討し、意見を述べます。
2. 公募定員:3名
3. 任期:平成17年11月1日(予定)から平成20年3月31日

4. 報酬・旅費:県の定める額

5. 応募資格

- (1)南会津郡内に居住または通勤する満20歳以上の方(平成17年10月3日現在)。
- (2)年に2~3回程度、平日に田島町において開催される懇談会に出席できる方で、農業全般に関心のある方。

ただし、国、地方公共団体の議員・職員及び農業関係者の方は除きます。

【応募方法】

下記の応募先まで、御連絡頂ければ、必要な書類を送付します。なお、詳細につきましては、南会津農林事務所のホームページ(www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/)に記載されています。

(応募先及び問い合わせ先)

福島県南会津農林事務所農業普及部まで
電話:0241-62-5644

※なお、応募に関する個人情報は本公募の目的以外に利用することはありません。

南会津のこれが食べたい！！

『村人の命をささえて300年』雪国の赤い糧！

たていわの赤かぶ

(館岩村農林建設課)

館岩村で栽培される赤かぶは、他の地域で栽培しても赤く色づかないという誠に郷土色豊かな赤かぶである。

その赤かぶは古老の教えを受け継ぐ昔ながらの栽培方法で、お盆の頃に種をまき、収穫は、霜の降りる晩秋。霜が降りるたびに独特の赤紫色が濃くなり、滋味が増すとされ、会津高原の山懐深い里山の自然食

(写真)

焼き畑方式により栽培された川衣地区での初収穫風景



である。

貯蔵食としては、塩漬けや酢漬けとして食べる。野趣に富む香りと甘味、パリッとした独特の歯ごたえが特徴です。

今月のコラム

山林資源を活かし、絵を描く。

南 会津地方では、各地区でキノコや山菜、広葉樹林などの山林資源を絵の具とし、地区の皆さんの経験、技術、知識を筆として様々な絵が描かれています。

田島町の藤生地区では、平成7年より地区内の鉄山(はさみやま)を85haにもおよぶ観光ワラビ園として管理運営しています。約二ヶ月間の開園期間には96名の組合員全員が協力し、1800人の来園者を迎えています。さらに平成14年秋からは「アクの弱いワラビ」の栽培にも着手し、より活発な活動を展開しています。

また、下郷町林業振興協議会では、県で開発した大型ナメコ(登録品種名:福島N2号)の栽培に他産地に先駆け取り組んでいます。同時に、このナメコの愛称募集や消費交流会など、これまで手がけたことのない販売対策も行い、これまで以上の幅広い活動を進めています。「満点なめこ」と名付けられたこのナメコは、今秋、下郷町物産館と郡山市内のスーパー店頭で並ぶこととなりました。

これらの取り組み以外にも、下郷町中山地区の観



(写真)

満点なめこ栽培検討会(下郷町林業振興協議会)

光ワラビ園運営、下郷町栄富地区の林床活用による山菜栽培、只見町後山地区の里山林再生整備、館岩村川衣地区の原木ナメコ栽培、館岩村の林業体験学習受入れなど多くの絵があります。

これらの絵を描くための中心的役割を果たしているのは、地区と地区の山林資源を熟知し、林業・林産業について経験豊富な高齢者の皆さんです。

現在、県では、来年度四月に導入する森林環境税の一部は「森林環境交付金」として、町村が提案する独自の森林再生等の取り組みに配分する枠も検討しております。

独自の森林再生プランや地区振興策作成の参考として、これら各地区に描かれている絵を改めて鑑賞されることをおすすめします。

(森林林業部副部長佐藤守)



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

R100 PRINTED WITH SOYINK™
古紙配合率100%再生紙を使用しています。
この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。